

議会だより

あさぎり

No.44
H27.2.5発行

あさぎり町議会 検索



箱根駅伝で力走する
大手敬史選手(上中出身)

通年議会 第5・6・7回会議

一般会計補正予算

原案通り可決 2P

一般質問に10人が登壇 6~10P

議会だより連続入選 11P



十両格行司に昇進した木村勘九郎さんと同級生（免田中出身）

衆議院議員総選挙費 767万7千円を追加

利子及び配当金が増えた為 7,875万6千円を追加

総額

102億3,648万6千円を可決

第6回会議が12月9日から12日までの4日間の日程で開催された。一般会計補正予算、特別会計補正予算、町立保育所民営化移管先選定委員会設置条例の制定、一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について、町長等の給料の減額に関する条例の制定について等が提案され、すべて原案通り可決された。

一般質問には10名が登壇し様々な視点から町政を資した。

主な内容

- 人事院及び熊本県人事委員会勧告により、一般職員の給料月額・勤務手当の額・通勤手当の額・単身赴任手当の額及び管理職員特別勤務手当の額が増えたことにより

- ・ 給与……………452万9千円 増
- ・ 職員手当……………1,450万6千円 増

- 利子及び配当金収入が増えたことにより

- ・ まちづくり基金積立金……………1,992万8千円 増
- ・ 公共施設整備基金積立金……………565万2千円 増
- ・ 財政調整基金積立金……………3,405万1千円 増

- ・ 国民健康保険特別会計…………… 1億835万6千円 増
- ・ 介護保険特別会計
 - 介護保険システム改修委託料……………97万9千円 増
 - 介護サービス特別会計職員給与費……………32万5千円 増
- ・ 水道事業特別会計
 - 収益的収入……………250万円 減
 - 収益的支出…………… 109万1千円 増
 - 職員給与費……………30万2千円 増

- ・ 簡易水道事業特別会計
 - 職員給与費……………43万円 増
- ・ 下水道事業特別会計
 - 職員給与費……………66万7千円 増
 - 修繕料……………140万円 増
- ・ 上財産区特別会計
 - 財産区財政調整基金積立金…………… 501万5千円 増

審議内容の抜粋

問

J Aくま中球磨選果場補助金が、当初予算では1億9千万円であったが、今回1億1千万円に減額された。その要因は、**農林振興課長** J Aからの見積り額を当初計上していたが入札した結果である。



老朽化した選果機。4月には新しい選果機が稼働

問

時間外手当が介護関係と農林振興課分に組んであるが、超過勤務の命令体制はどうなっているのか。

総務課長 担当課長がやっているが、午後10時以降については労務関係（体調問題）の面からチェックしている。0時以降というのは聞いているので担当課長と確認をしている。

農林振興課長 昨年度から補正予算がつき、大きな事業費で進めているものがある。設計書の作成・検査・補助金申請や実績報告など期日が決められている。それに間に合わせるため、やむを得ず超過勤務となっている。今後は加重としないようにしていく。

問

学童保育の返還金が94万6千円あるがその要因は。

福祉課長 25年度、利用する児童が少なかったため実績で返還となった。26年度は1クラブ増え6クラブとなり児童数も増えている。

問

特別保育事業（私立保育園）の実状はどの様になっているのか。

福祉課長 私立保育園が実施する休日保育も利用する園児数等の実績で返還が出てくる。

■平成26年度 第5回 議案表決一覧（抜粋）

議案名	議員名	加賀山	橋本	久保	小出	森岡	徳永	豊永	山口	永井	皆越	小見田	奥田	田原	溝口	久保田
あさぎり町役場本庁舎改修工事請負契約の締結について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■平成26年度 第6回 議案表決一覧（抜粋）

議案名	議員名	加賀山	橋本	久保	小出	森岡	徳永	豊永	山口	永井	皆越	小見田	奥田	田原	溝口	久保田
あさぎり町立保育所民営化移管先選定委員会設置条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
平成26年度あさぎり町一般会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
人吉球磨定住自立圏形成協定の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
あさぎり町長等の給料の減額に関する条例の制定		○	×	×	○	○	○	○	○	○	△	×	○	○	×	○

■平成26年度 第7回 議案表決一覧（抜粋）

議案名	議員名	加賀山	橋本	久保	小出	森岡	徳永	豊永	山口	永井	皆越	小見田	奥田	田原	溝口	久保田
自主性を尊重する農協改革を求める意見書		○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○

条例の制定及び改正 抜粋

第 36 号

あさぎり町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

平成26年8月7日に出された人事院勧告及び同年10月9日に提出された熊本県人事委員会勧告にかんがみ一般職の給料月額、勤勉手当の額、通勤手当の額、単身赴任手当の額及び管理職員特別勤務手当の額を改定するため。

第 35 号

あさぎり町立保育所民営化移管先選定委員会設置条例の制定

あさぎり町が設置する保育所の民営化に当たり、その移管先候補者を選定する附属機関を設置するため。

第 51 号

あさぎり町長等の給料減額に関する条例の制定

下水道受益者分担金、規模拡大交付金、所得税源泉徴収、軽自動車税賦課及び切手管理における不適切な事務処理に対する責任として、町長27年1月1日から3月31日までの3ヶ月10%(236,100円)減額、副町長27年1月1日から2月28日まで2ヶ月10%(121,000円)減額するもの。

質 疑

問 10%の3ヶ月・2ヶ月減額とした根拠を問う。

町長 過去、これに似た案件もありこの辺が妥当なところと考えた。

討 論

反対 9月議会で下水道特別会計の不認定にともない数々の不祥事案が出てきたので執行部に対し付帯決議をした。速やかに町長はその責任を明確にされるべきであったのに、12月議会に提案されたが内容を見るとあまりにも責任のとり方が軽すぎる。住民監査請求もできるなどからして反省の態度がない。よってこの内容では納得できない。

賛成 町長就任前の案件も含まれており妥当ではないか。いつまでも町長、副町長がこの様な責任の取り方をしていたら職員の意識改革にはつながらない。不祥事を起こした職員、その課を掌握する課長が厳しい処分を受けるべきである。

反対 職務怠慢によって入ってくるべき税金もなくなったり、町長の一般家庭の宿泊代の支払いについても条例違反ではないにしても、町長には高い倫理感が求められる。今回の条例案の中身は賛成できる内容ではない。

賛成 町長自ら責任を取るという姿勢には一定の評価をする。

請 願

「手話言語法（仮称）」制定に向けた意見書提出請願書について

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手語を身につけ、手話で学べ自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することができる環境整備を目的とした「手話言語法（仮称）」の制定を求める意見書。

要 請

「農協改革」に関する要請書

1. 総合事業による JA 事業の展開
2. 准組合員の事業利用・JA 運営参画の促進
3. 農協法上「新たな中央会制度」位置づけの明確化

採択し政府に意見書を提出

地方創生元年

あさぎり町議会議長 橋爪 和彦

新年明けましておめでとうござ
います。

政府は、昨年末に、地方自治体
の創意工夫による人口減少を支援
する「まち・ひと・しごと創生総
合戦略」を閣議決定しました。各
市町村に、来年度中に、魅力ある
仕事と住みやすい環境を創生して
人口減少に歯止めをかける施策に
ついての基本的な計画を定めるよ
う努力義務を課し、その内容次第
で交付金を決定する仕組みです。
各市町村の知恵比べが始まってい
ると認識しています。

日本では明治以来の中央集権
で、人材も金も一極集中させるシ
ステムが厳然と存在しており、都
市部から地方に人材を呼び込むと
いう真逆の試みを成功させること
は簡単ではありませんが、町に
とって千載一遇のチャンスである
ことも事実だと思えます。

議会としても、この機会を逃さ
ぬように、的確な政策提案が行え
たらと考えています。

昨年9月議会の決算審査意見書
で、監査委員から下水道事業受益
者分担金の不納欠損に関して指摘
がありました。担当課の職務怠慢
を主因とする同様の事案が近年相
次いで露見しており、一部町職員
の弛^{たる}みや管理体制の甘さが表に出
た結果だと受け止めています。議
会のチェック能力についても猛省
し、町の事務事業や執行体制・管
理体制の調査にも着手したいと考
えています。

今年、根本的にこの町を見直
し変える「地方創生」元年であり
たいとの思いです。

末筆ながら、町民各位のご健勝
ご多幸を祈念申し上げ、新年のご
挨拶と致します。



10人が登壇

※一般質問の文章については、質問者の責任においてそのまま掲載とします。

農林振興課長 水田農業推進協議会、地域再生協議会、またはJ Aと一緒に水田農業の誘導を進めていきたい。具体的に考えている事は、水稲プラス露地野菜を推進したい。WCSの飽和状態も否めないうし、飼料用米も課題が多くJ Aと検討を進め周知を図りたい。

小見田 何を作付したが良いのか



飽和状態のWCS(飼料用米)

小見田 衆院選の各党の公約には、地方創生、農業所得倍増など、夢ある農業・農村が描かれているが地方農村の現況は円安による燃油、飼料、資材の高騰に加え、生産費を割る米価の下落で深刻な打撃を受けている。米の直接支払い交付金の廃止も迫る中、あさぎり町の農業振興策はどう考えているか。



小見田 和行 議員

問 主食用米価格低迷期における今後の水田農業振興策は

迷う中「水田農業ビジョン」を参考にし、新年の営農計画書を作成するのが順当と思うが、現状は計画書提出期限が2月末、ビジョン周知は5月と真逆になっている。改められないか。

農林振興課長 国の方針が示される以前の策定は難しいが、農政座談会で説明し、変更にも対応したい。

問 あさぎり駅前東側の民有地買収の考えはないか



徳永 正道 議員

徳永 政府は新しい地域づくりを進める上で、地方で行政施設や医療・商業施設など一定のエリアに集め、住民が少くない移動で用事を済ませる事が出来るようにする事。併せて地域間の交通網の整備をし、人や物の行き来を活性化させる事を盛り込み、地方で便利な住まい環境を整備する事を目的としているとある。そうであるならばこのような事業に取り組んで、町づくりを進めていく上においても駅前東側の民有の土地は必要不可欠であると思うが、町長の考えを伺いたい。

町長 あさぎり駅前周辺の整備が進んでいるが、力を入れて元気のある場所にすべきと思っている。町の方々の意見も聞いているが「その場所については町で使えるようにしたい。」

徳永 駅前広場はイベントと駐車場と併用して使用しているが、町民からは「駐車場として使うのは芝があり問題だ」という指摘もある。広場はイベント専用の場として活用し、駅前東側の民有地を購入して専用駐車場として確保して頂きたい。



望まれる駅前開発駐車場

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する。

問 上財産区は、今後どうするのか



溝口 峰男 議員

溝口 上財産区補助金の交付事業及び管理団体への助成は、条例・規則で定めてあるが、実施されないのはなぜか。

農林振興課長 過去二回同様の質問があつて、管理会でも検討したが、分収林の事もあつて財産を次に引き継いでいくとの結論にいたつた。

溝口 某地区から補助金申請がなされたが却下された理由は何か。

農林振興課長 管理会で検討した結果、合併して10年、一度も補助金を支出していないので一地区だけに出すのはできないとの事であつた。

溝口 補助金を申請しても却下されるのであれば、財産区を残して上地区民は今後どの様な恩恵を受けられるのか。

農林振興課長 そこが問題であるので、管理会7人と区長代表者6人で現在協議をしている。



成人式の後、自分達で造った焼酎で乾杯(南稜高校)

溝口 財産区を解散し、山を町へ寄付、基金(3億5千万円余)を上地区で活用することは法的に可能か。

副町長 基金を一旦町へ寄付をしていただき、その中で議論をしていけば方法はあると考えられる。

溝口 熊本県教育委員会が発表した南稜高校の学科編成では、魅力ある学校にはなりえない。町の発展には欠かすことができなないので、学科編成の見直し等を提言する組織を作るべきではないか。

町長 できるだけ早く組織化をして、具体的な取り組みをしていく。



橋本 誠 議員

橋本 あさぎり町立小中学校の今後の改修計画は。

教育課長 平成26年度における学校改修基本計画の実態調査については、早急に改善を行うべきもの、短期的・中期的・長期的に改善が必要なものに区分し調査を行ったが、総額で11億2100万円ほどの改修費が必要と思われる。

橋本 基礎的・基本的な知識・技能に加え、学ぶ意欲や問題をよりよく解決する資質や能力等を含めた「確かな学力」の育成と支援が必要。児童のために特別支援教育支援員が配置されているが、その役割と効果は。

教育長 一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行い、児童生徒の生活や学習上の困難を改善又は克服するための適切な指導及び必要

問 今後の小中学校の改修費用は

な支援を行っており、周囲の児童も落ちついて学習に取り組める様になっている。

橋本 ふるさと振興社に助成金を出している事に対し、監査意見書の中で、支出対象になじまないと指摘があつているが、どの様に考えるか。

町長 普通地方公共団体は、その公益上必要がある場合においては、寄付又は補助することが出来ることと規定されているが、諸般の事情を考慮した上で、補助の仕方を見極めていく必要がある。



改修が急がれるあさぎり中学校

問

あさぎり町ふるさと振興社の現状と今後の在り方は



原価削減が課題の大豆商品類



久保 尚人 議員

久保 あさぎり町ふるさと振興社は、産業振興の役目を担う目的で存続してきたが、社会のニーズを酌み取れず赤字を出し続ける問題児となってしまう。

ふるさと振興社の行う事業は、公益性を持った事業と収益を求める事業とに分類される。収益性事業である大豆の加工品販売事業は、1年間の売

り上げがおおよそ1,140万円と推測され、商品原価は1,660万円である。差額の520万円が大豆関連の赤字となり、商品を作った時点で大きな赤字を抱える状況である。

この事業は売れば売るほど赤字が増えてしまう構造になっており、30%以上の原価の削減か45%の値上げが必要であるが。

町長 残念だがこの事業構造を認識し雇用の問題も含めて、方向転換に踏み切るべき時期に来たと認識している。来年度の予算申請時には、すべての事業の方向性を示す必要があると考える。

一般質問

問

源泉徴収漏れの その後の対応は



永井 英治 議員

永井 本町でも個人事業主への源泉徴収漏れがあったが、現在の状況は。

会計管理者 個人事業主の方々にお詫びをし、今後の流れの説明をさせて頂き、本来の源泉徴収税額は10月15日に町が立て替えて納付している。その後、5つの事業者全員が税務署に更正の申告・請求をして頂いている。また、不納付加算税・延滞税については、事務処理が済んでいるものについて納付を済ませている。

永井 今後の再発防止策は。

町長 町執行部を中心に改革の意識を高めるために、今議会において町長と副町長の報酬の減額条例を提案させて頂く。

会計管理者 他の事案も含め、事務処理の適正化に向けた対策委員会が発足

平成24年分 給与所得の源泉徴収票		氏名	123
支払を受ける者	東京都〇〇区△△1-1-1-1	姓(フリガナ)	キウヨウ タロウ
		職名	給与 太郎
種別	給与・賞与	給与控除後の金額	5,000,000
		源泉徴収税額	100,000
控除対象給与等の総額	400,000	社会保険料等の控除額	
支払総額		支払総額	24,930
住所(居所)又は所在地	東京都△△区〇〇2-2-2-2	氏名又は名称	株式会社 給与計算教室

源泉徴収票(例)

し、全庁的に検討を加えて、マニュアルの作成等に着手している。また、各課の決裁段階での確認と、財務会計システム改修の協議をしており、人による確認と機械による確認、最終的には会計課のシステムを厳格化して対応していく。

問 あさぎり広場・駅周辺部に魅力はあるか

加賀山 町の顔である駅周辺部は、現在魅力ある場所になり得ているか。

町長 今後の整備についてはJ Aの店舗等と連携して道の駅的な場所に出来たらと考えている。そこで町の特産品等をPRしたい。又、南稜高校ともタイアップして元気な地域づくりを進めていきたい。

加賀山 住民や高校生へ聞き取り調査をしたが「広場でなく駐車場ではないか」との回答が多かった。要綱では広場はいつでも誰でも使えるとなっている。広場として活用するには、看板等設置しもつと分かりやすく知らせてはどうか。

商工観光課長 今はまだ十分にPR出来ていないが、示すことは出来る。

人事評価制度導入後の成果は

加賀山 住民の期待に応える行政サ-



加賀山 瑞津子 議員

ビスには、担い手の職員の在り方、育て方にも変革が求められる。制度を導入し一年経過したが、現在どうなっているか。

総務課長 まだ評価者の技量にバラつきがある。評価基準の平準化も課題のひとつ。あさぎり版の完成には至っていない。

加賀山 課内での上司部下の関係に制度が活用されていけば未然に防げた事案もあったのではないか。有効活用で、やる気のある職員が頑張れる場面づくりも必要ではないか。

町長 制度の問題点を見直し精度を高めたい。今後昇任・昇格の基準にも生かす必要がある。



町ホームページに掲載された利用申請の記事

問 町福祉行政と社協との関係、位置づけは

豊永 地域福祉を推進する民間の中核組織である社協は、保育所、温泉施設等も指定管理業務となっており、事業も多岐にわたっている。今後、福祉関連の法制度改正がなされる中で、町長は町福祉行政と社協との関係をどの様に考え位置づけするのか。

町長 社協と行政とどうやっていくかという事を前から検討してきたが、行政と社協どちらがメインでやるかという様な役割分担をきちっと明確にしてやる事が大事だ。

豊永 町民の利便性を考えると、社協の事務所は本庁舎近くに置くべきではないか。

町長 今の状況では難しいが、今の体制でまずやれることを精一杯やって、その上で次のステップとして、今後議論していきたい。



豊永 喜一 議員

◎その他の質問

- ・ 農業振興作物の対策
- ・ ジャンボタニシの被害と対策
- ・ 多面的機能支払交付金事業による、くま川鉄道沿線の除草作業について



ヘルシーランド温泉内にある社協

問 文化遺産を周辺地域の活力に

つなげることはできないか



森岡 勉 議員

森岡 あさぎり町は全国でも珍しく、各地区で三百年以前より観音様を文化遺産として守り続けている。観音様は、現世利益の仏様として、庶民に信仰されている。

その中でも相良三十三観音巡りは、おもてなしの心があり、各地より訪れる方々に大変好評を頂いているが、一方では、川北地区の五ヶ所の観音様周辺は、建物の老朽化、駐車場、参道等において危険箇所や整備が必要と思われる。

これらについて、整備等を成し、地域の観光を含め人口の交流へとつなげることに、地域の活性化に取り組むことが出来るのではないか。

町長 観音様は観光の面に於いても非常に親しみを与えている。川北地区の深田・須恵地区の観音様は交通の便等に支障がある状況だと思っているので、

今後整備等を含め検討をしていきたい。

教育課長 観音堂の整備等の状況は把握している。教育委員会における整備は文化財保護が主であるので、活用となると町部局との連携が必要である。

◎その他の質問

規模拡大交付金の申請漏れに対する町との関わりについて



永峰観音堂（深田）

問 トレーニングルームの開設は



奥田 公人 議員

奥田 最近、団塊の世代も高齢化を迎え、医療費の高騰が心配される時期に来ている。いつまでも健康維持するためには、是非トレーニングルームの開設が必要ではないかと考える。衰えかけた筋力には、トレーニングによって活性化するには、トレーニングルームはなくてはならない施設であると思う。町民の健康を守るといふ大きな目的でトレーニングルームの開設はできないか。

町長 今まで一般質問でトレーニングルームということで受けたのは、私の記憶では初めてだったような気がするのですが、どういう可能性があるのかを含めて、いろいろと議論させていただければと思います。

教育課長 トレーニングマシン等の設置については、高山体育館の2階にトレーニングルームがあった。そこには数機設置してあった



人吉スポーツパレスのトレーニングルーム

が、現在、全然使われていない状況、それと使えない状況である。また、ヘルシーランドにも併設されていたが、故障等で使用出来なくなった。利用者が少なくなった原因は機器が十分充足されていなかった点に要因があると思う。

◎その他の質問

・行政区再編の進捗状況について

「伝える広報」から「伝わる広報へ」

研修日時 10月20日～22日
 場所 ・東京読売新聞本社
 ・シェーンパッハ・サポー

1) 全国 140 町村議会が参加しての広報研修会では

- ◎広報は情報の発信と収集のもとに、広く伝えるだけでなく広く聴くことも重要。
- ◎視力弱者や高齢者にもやさしい紙面づくり「可読性」のある文字表現に努めること。

全体会、分科会の中で具体的なアドバイスを受けました。

2) 東京読売新聞本社研修

箱根駅伝のスタート・ゴールで有名な大手町の
 本社では、新聞が出来上がるまでの工程を研修。

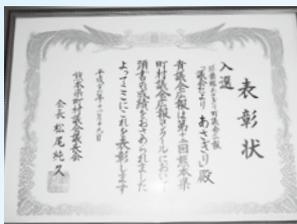
発行部数 1200 万部は世界一の新聞社で、貴重な取材を体験。

情報を得て、知識を高めるためにも新聞を大いに活用したいと認識を新たにしました。



広報研修全体会の様子

祝 **入選** 議会だより 「あさぎり」 が **受賞!!**



県内の町村議会が発行する広報誌の出来栄を競うコンクールで、議会だより「あさぎり」が、前回に引き続き入選を果たしました。連続入選はあさぎり町議会が県内では初めてです。

今回、広報誌を発行している 27 議会のうち 26 議会が応募した中での入選受賞です。

11月19日、メルパルク熊本にて、表彰式と、広報研修会があり、審査委員の越地伸一郎・熊本NIE専門委員に「メリハリの効いた見出し、すっきりとしたレイアウト、分かりやすい説明は住民目線でよい」と評価して頂きました。去年は、全国町村議員広報研修にも参加し研鑽しました。今後も、より見やすく、分かりやすい広報誌作りに努めて参りますので宜しくお願い致します。



表彰式にて

10月8日、北海道千歳市北広島
防災ステーション

石狩川に注ぐ千歳川の河川改修の歴史（約100年ぐらい）は浅く、記録はすべて残っている。年間雨量は1300mmであるが、標高が10m未満から6m未満の地形で滞水時間が長く、洪水時には石狩川の影響を強く受けて高い水位が長時間続いていた。

2005年に「千歳川河川整備計画」を策定、主な整備内容は①堤防の整備②河川の掘削③遊水地の整備、総工費は3500億円である。今回は遊水地の工事現場を視察した。一区画200ha（1km×2km）、貯水量500万t、この遊水地は6カ所計画中の一つである。全地買収方式で一反110万円である。球磨川のダム



千歳川河川舞鶴遊水地視察

ムによらない治水対策にも遊水地計画があるが、広大な畑地の一角を買収する北海道と比較した場合、優良な水田が対象となる球磨川沿いでは用地の確保は大変厳しいものがあると考えられる。

10月9日上川郡下川町

『環境未来都市しかもかわ』
人口3507

人森林面積569.8km²（町の面積の88%）
地域林業の振興と雇用対策として森林資源を余すことなく利用。集材加工



下川町木質バイオマス研修

から木酢液、化粧水、割り箸等製造がなされ、これらは下川森林組合に委託されていた。エネルギーの地域循環システム確立と化石燃料の大幅な削減を目指し、木質バイオマスボイラーにより役場及び、周辺施設への熱エネルギーの供給も行われていた。また超高齢化問題と低炭素化の同時解決を目指し、地域熱供給施設（木質バイオマス、太陽光発電）を備えた集住化住宅見学と「地域おこし隊」の若者と意見交換もできた。限界集落対策のみの集住宅でなく、そこから新しい地方のコミュニティの創造の可能性も垣間見た感があった。森林資源に恵まれた我町にとってバイオマス活用による循環型社会の構築や農林業の活性化に向け学ぶべき点多々あるのではないか。

10月10日 夕張市役所

炭鉱産業の衰退↓炭鉱関連産業の撤退・職員の流出↓炭鉱関連資産負債の引き受け↓非炭鉱業への投資↓投資の失敗↓破綻となった夕張市。人口も11万6千人から9千6百人、6校あった小学校も1校へ、中学校も1校に統合、171床の市立総合病院は19床の診療所に縮小している。そのような状況下、夕張の再生に向け、住民と職員の方々の熱い想いと必死の努力がうかがえた。地域にそぐわない制度は北海道に変更を要望、それを可能にした事などは特に印象に残った。

基幹産業の衰退に伴う地方の将来は決して夕張だけではないと肝に銘じるべきと思った。住民の幸せの基を築くのは、産業の振興が一番であると思う。



夕張市役所で財政問題研修

研修を受け入れていただいた関係自治体に対して心より感謝申し上げます。

21世紀国家は官から民へ 自治体行政学とは何か

～熊本県町村議会議員研修会～

日時：11月6日(木)・場所：益城町文化会館



人口減少時代の自治体議会について、東京大学大学院法学政治学研究科の金井利之教授の講義を受けました。

自治体の民主主義のための制度の設計や運用の工夫が、今後の自治体行政学の理論と実践の交錯領域のテーマ。満席の会場では、熱心にメモをとる場面が終始見られました。

農業は無限の観光資源だ

～上球磨町村議会議員研修会～

日時：10月31日(金)・場所：湯前町(ゆのまえ温泉湯楽里)

寒村を一大農業観光地へと導いた観光農業のカリスマ・工藤順一氏の講演がありました。

観光農業成功の極意の「キーワード」

- ①本物
- ②安全安心ー健康、地脈、人脈ーネットワーク
- ③体験、体感、実感、共感ー夢とドラマ
- ④季節感ー四季を感じるもの、地産地消、旬産、旬消、朝採
- ⑤消費者の本音を五感で捉える(視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚)
- ⑥そろばん勘定より人間勘定



住民とともに議員のボランティア活動

第12回くま川マラソン大会

昨年に続き今年も全議員でおもてなし。



大好評

地元産材使用の
豆乳鍋うどん



▲人吉新聞に掲載されたくま川マラソンの様子

みどり推進植樹祭

11月15日、森園カントリーパーク(岡原)にてあさぎり町上小、岡原小、他郡市のみどりの少年団と共に植樹を行いました。



一部事務組合及び常任委員会報告

人吉球磨広域行政組合議会

11月28日午前10時より人吉球磨ク
リーンプラザ大会議室にて、第4回定
例会が開催され、一般会計及び特別会
計3件の平成25年度歳入歳出決算認定
については、決算特別委員会委員長か
ら審議結果についての報告があり、原
案のとおり認定された。平成26年度一
般会計補正予算他4件についても、原
案のとおり可決された。

上球磨消防組合議会

第2回定例会は11月21日に召集され
会期1日で開催された。25年度一般会
計を認定し、5議案を原案通り可決し
た。一般質問で消防本部庁舎の耐震化、
消防救急デジタル無線整備状況、西分
署設置についての質問がなされ、組合
長は西分署建設については広域化を含
め総合的に判断したいと答えた。

公立多良木病院企業団議会

12月2日、第4回定例会が召集され、
平成26年度病院事業、介護老人施設事
業及び健診センター事業会計補正予算
と、上球磨地域包括支援センター特別
会計補正予算の2件を審議し、いずれ
も原案通り可決された。企業長は、「医
師の確保と病院の信頼回復に向けて全
力を注ぐ。」と決意を述べられた。



建て替えが検討されている消防本部庁舎

総務文教常任委員会



大分県豊後高田市教育委員会訪問

9月24～25日、大分県豊後高田市教
育委員会を訪問し、一、学びの21世紀
塾及複式学級の取り組み、二、昭和の
町づくりと歴史と文化財保存について
視察研修した。平成14年度から始めた
「学びの21世紀塾」は教育のまちづく
りとして、保護者・行政・教職員など
市民が一体となり、作り上げ取り組ん
でいた。
本町もすべての学校を一緒にこの様
な取り組みはできないが、学校応援団
が充実している学校から実施していく
と、本町教育の向上につながると考え
る。

建設経済常任委員会

11月4日（火）あさぎり町畜産振興
会理事との懇談会を免田「しいばスト
アー」において畜産の経営状況等につ
いて行った。

11月18日（火）、19日（水）にか
けて視察研修を行った。1日目は佐賀県
鹿島市役所にて、多面的機能支払い交
付金事業について農林水産課の担当職
員より詳しく説明を受け質疑応答。
福岡県岡垣町の6次産業施設ぶどう
の樹を視察。



多面的機能支払い交付金事業について研修

厚生常任委員会

9月25日（木曜日）

「町立保育所運営方針」の策定について、福祉課より説明を受け協議をした。説明では、方針策定の背景として、共働き世帯の増加、就労形態の多様化等、保育に対する町民のニーズが多様化している事。また、行財政改革プランにおいて、町立保育所の在り方の検討も進めるとされている事。併せて「あさぎり町保育所検討委員会」の答申では「保育所の維持」「民設民営化の推進」「保育内容の継承維持」が提言されている事がある。このような経緯のもと、公と民の適切な役割分担が図られる保育サービスの向上を基本として策定した、との説明を受けた。委員会としては、現在の指定管理期間の終了後は、この方針の通り、4つの町立保育所すべて民営化が望ましいとの意見で一致した。



11月25日（火曜日）

当日が休業日のヘルシーランドの現状調査を行った。施設自体が老朽化し、抜本的な改修が必要と思われる箇所がいくつも見受けられ、維持管理に大変な苦勞がある事が伺える。委員会としては、現在の指定管理期間中に温華乃遥温泉の調査も行った上で、温泉施設の抜本的な運営の在り方等、継続して協議していく事とした。



老朽化したヘルシーランド（地下機械室）

明るい「あさぎり町」は素敵な笑顔から

毎年お花を贈ってくださっている商工会女性部のみなさん



税務講習会時のひとコマ

議場へきれいなお花を

ありがとうございます



表紙トピックス

かがやけ・はばたけ あさぎりの★

- 新春箱根駅伝・全国放送の中で「あさぎり町出身 大手敬史選手」と紹介された。東京から成人式にかけつけ、久々に同級生と語らった。これからもみんなの元気の源として頑張ってください。
- 日本の国技である相撲。志を抱き中学校を卒業後、行司の道を極め、十両格行司に昇進した木村勘九郎（本名 中村佳己）さん。

町民の声

ちょっと一言★今回は町民のみなさんにインタビュー方式でお伺いしました

- ◎地域の人がみんないつも声かけしてくれるのでうれしい。(10代)
- ◎久しぶりに帰省したが、地元に残っている友だちに会えて元気をもらえた。又都会で頑張ります。(30代)
- ◎少子化が進んでいる今こそ、子育てしやすい魅力ある町づくりをして欲しい。(40代)
- ◎複式学級の解消に努め、子ども達の教育に力を入れて欲しい。(40代)
- ◎どんどやや村まつりなど昔からのまつりを大切に残していきたい。エンブリーさんの事をもっとPRしたい。(50代)
- ◎健康に気をつけながら生活していきたい。それに対して町(行政)はサポートして欲しい。(60代)
- ◎経済面でも安定する一年にしていきたい。(60代)
- ◎皆さん高齢になられてこれ、遠い所まで買い物に行くのが大変なので近くに店が欲しい。(60代)
- ◎年寄りには溝さらえ等の負担が大きい。何か方策や支援は出来ないか。(70代)



須恵(寺池)川瀬の皆さん

10年後を見据えられる産地づくりを!



岡原(竹野)

宮本 隆宏さん

我が家には、小6になる息子がいます。あさぎりFCに所属し、サッカーに明け暮れる毎日。

しかし、そんな息子の将来の夢は、「農業を継ぐ事」。我が家は、施設園芸を主体とした農業経営を行っています。一言で「農業を継ぐ」と言うのは簡単かもしれないが、「農業を継がせる」と言うのは難しい。そんな親も少なくはないと思う。

10年後の農業なんてどうなっているかわからない。10年どころか、5年後、3年後もわからない。そんな中、今の農家にとって必要なのが、助成金や交付金です。これらを、うまく利用しながら、健全な経営を行っていく事が10年後を見据えられる農業経営や産地づくりだと思います。

あさぎり町に、一人でも多く後継者が生まれる事を願っています。そして私も10年後、息子の就農を迎えられるよう頑張っていきたいと思っています。

編集後記

昨年末に衆議院解散・総選挙があり、自民党が安定多数の議席を獲得しました。政府・党の人事もほとんどそのまま、近年長続きしない政権だっただけに安部政権に期待するところ大です。

さて今年には統一地方選挙の年です。4月に県議、町長、農業委員選挙が行われます。政治への参加の第一歩は投票に行くことだと思います。皆様方の清き一票を政治に活かしてください。

では、皆様方のご健勝をご祈念申し上げます。

田原 健一

編集・発行責任者
議長 橋爪和彦

広報調査特別委員会
委員長 加賀山 瑞津子
副委員長 橋本 誠
委員 溝口 峰
田原 健一
小見田 和行
徳永 正道



あさぎり町議会だよりは
ホームページでもご覧頂けます。